

Process Orchestrator : DB2 クライアントのみを使用している Process Orchestrator との DB2 メインフレームの接続

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[DB2接続の設定](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、DB2 クライアントのみを使用して、Cisco Process Orchestrator に DB2 メインフレーム データベースを接続する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Process Orchestrator/Tidal Enterprise Orchestrator(TEO)2.2以降に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

問題

ユーザはCisco Process OrchestratorをDB2メインフレームに接続したいと考えており、通常はライセンスの問題により、DB2クライアントのみをインストールしたいと考えています。

DB2接続の設定

次のステップを実行します。

1. DB2 ConnectベースのインストールコンポーネントからDB2 Clientをインストールします。Windows 2008 R2では9.7を使用し、Windows 2008 Standardでは9.1を使用します。
2. インストールが完了したら、Cisco Process Orchestratorコンソールを起動し、[Administration] > [Adapters]に移動します。DB2アダプタを開き、前提条件タブでrefreshをクリックします。アダプタのシールドが緑色に変わります。
3. DB2設定ツールを起動するには、[Start] > [All programs] > [IBM DB2] > [Set-up Tools] > [Configuration Assistant]に移動します。
4. ツールが開いたら、[Selected] > [Add Database Using Wizard]をクリックします。
5. [Manually Configured]を選択し、[Next]をクリックします。
6. [TCP/IP]を選択し、[Next]をクリックします。
7. メインフレームのホスト名とポートを設定し、[Next]をクリックします。
8. 接続先のDB2データベース名を設定し、「次へ」をクリックします。
9. [Register Database]ボックスをオフにし、[Next]をクリックします。
10. オペレーティングシステムのOS/390またはz/OSを選択します。インスタンス名にDB2と入力し、[次へ]をクリックします。
11. [Operating System]ページのデフォルトを受け入れ、[Next]をクリックします。
12. 「サーバー認証」を選択し、「完了」をクリックします。有効なユーザIDとパスワードで接続をテストします。
13. Cisco Process Orchestratorコンソールに戻り、[Definitions] > [Targets]に移動します。
14. Targets > New > DB2 Mainframeの順に右クリックします。
15. ホスト名またはIP、データベース名、ポート番号を入力し、ランタイムユーザとパスワードを作成します。[OK]をクリックすると、ターゲットが作成されます。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)